




各 位

平成 27 年 5 月 14 日

会 社 名  日本タンゲステン株式会社  
 代表者名 取締役社長 馬場 信哉  
 (コード番号 6998 東証2部、福証)  
 問合せ先 取締役経営管理担当 大島 正信  
 (TEL 092-415-5500)

平成27年3月期通期業績予想と実績値との差異並びに  
 特別利益、特別損失及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ

平成27年2月12日に公表した平成27年3月期の業績予想から差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。また、特別利益、特別損失及び繰延税金資産の計上を行いましたので、あわせてお知らせします。

記

1. 業績予想数値と実績値との差異について

(1) 平成27年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,150	120	200	120	4.90
今期実績(B)	11,372	204	372	401	16.42
増減額(B-A)	222	84	172	281	—
増減率(%)	2.0	70.4	86.1	234.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	11,616	256	320	303	12.39

(2) 平成27年3月期通期個別業績予想と実績値との差異 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,650	350	480	380	15.53
今期実績(B)	9,853	382	609	519	21.25
増減額(B-A)	203	32	129	139	—
増減率(%)	2.1	9.3	27.0	36.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	9,556	305	476	215	8.79

### (3) 差異の理由

連結決算においては、第4四半期の個別業績が好調に推移したことや海外子会社の業績が見通しより改善したことにより、営業利益・経常利益が予想値を上回りました。

また、特別損益において減損損失等の特別損失を計上しましたが、海外事業関連損失引当金の戻入による特別利益を計上したことや、翌期及び今後の業績動向を勘案し慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上したことにより、当期純利益は大幅に増加しました。

個別決算においても、連結業績同様に第4四半期での増収要因や、不動産賃貸料の回復等により経常利益が予想値を上回りました。また、連結決算と同様に特別損失が発生しましたが、特別利益の計上や繰延税金資産の計上により、当期純利益は増加しました。

## 2. 特別利益（連結・個別）の計上及びその内容

破産手続中であった中国子会社の手続が終結する見込みとなり、当社が負担すべき費用又は損失の合理的金額の見積もりにおいて、当初想定した金額から大幅に軽減される見通しとなったことから、平成25年3月期に計上した海外事業関連損失引当金の一部を取崩すこととしました。

(連結・個別)

海外事業関連損失引当金戻入額	272百万円
----------------	--------

## 3. 特別損失（連結・個別）の計上及びその内容

当社及び中国子会社が所有する固定資産の一部について、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失を計上しました。

また、個別決算において中国子会社の出資金について関係会社出資金評価損及び債権の一部について貸倒引当金繰入額を計上したほか、海外事業関連損失引当金繰入額を計上しました。

(連結)

減損損失	240百万円
------	--------

(個別)

減損損失	120百万円
関係会社出資金評価損	93百万円
貸倒引当金繰入額	152百万円
<u>海外事業関連損失引当金繰入額</u>	<u>26百万円</u>
	392百万円

なお、平成27年3月期第3四半期累計期間までに計上した額を含めた通期の計上額は、下記のとおりです。

(連結)

減損損失	4 6 1 百万円
<u>海外事業関連損失</u>	<u>6 7 百万円</u>
計	5 2 9 百万円

(個別)

減損損失	1 2 0 百万円
関係会社出資金評価損	1 2 7 百万円
貸倒引当金繰入額	2 9 5 百万円
<u>海外事業関連損失引当金繰入額</u>	<u>2 6 百万円</u>
計	5 6 9 百万円

(注) 平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計期間に海外事業関連損失として計上しました 1 4 3 百万円については、貸倒引当金繰入額として計上しております。

#### 4. 繰延税金資産の計上

個別決算において、翌期及び今後の業績動向を勘案し繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上しました。これにより、連結で△ 3 2 9 百万円、個別で△ 3 4 1 百万円の法人税等調整額をそれぞれ計上しました。

以 上